

アニュアルレポート 2012

地理環境科学域／地理環境コース

首都大学東京
大学院都市環境科学研究科地理環境科学域
都市環境学部地理環境コース

目 次

1	地形・地質学研究室	1
1)	スタッフ	
2)	研究概要	
3)	研究成果(2012年度)	
2	気候学研究室	9
1)	スタッフ	
2)	研究概要	
3)	研究成果(2012年度)	
3	環境地理学研究室	20
1)	スタッフ	
2)	研究概要	
3)	研究成果(2012年度)	
4	地理情報学研究室	25
1)	スタッフ	
2)	研究概要	
3)	研究成果(2012年度)	
5	都市・人文地理学研究室	32
1)	スタッフ	
2)	研究概要	
3)	研究成果(2012年度)	
6	特定学術研究	36
7	学位論文	38

1 地形・地質学研究室

1) スタッフ

山崎 晴雄 (やまざき はるお) 教授 / 理学博士
地形学, 第四紀学, 地震地質学

鈴木 毅彦 (すずき たけひこ) 教授 / 理学博士
地形学, 第四紀学, 火山学

白井 正明 (しらい まさあき) 准教授 / 博士 (理学)
堆積学, 第四紀地質学, 海洋地質学

2) 研究概要

地形・地質学研究室は、将来の地球環境変化を予測することを最終的な目標として、それに必要な過去の環境変化や地形形成過程など、大地に刻まれた情報を解明する研究を行っている。現在および最近の地質時代(第四紀)の地形・地質に関連する様々な現象が主要な研究対象である。最近行なっている主な研究テーマを挙げると次のとおりであり、日本をはじめ世界各地での野外観察・観測、あるいは室内での実験によってバラエティに富む研究を行なっている。

1. プレート境界域の第四紀地殻変動に注目し、その時間的変遷や地震発生様式からプレートの収斂・衝突過程の詳細を明らかにする。
2. 日本列島とその周辺海域に広く堆積している火山灰に注目し、爆発的噴火の頻度・規模とメカニズムの解明、火山噴火史の復元、日本列島スケールでの火成活動の変遷史を明らかにする。
3. 地形変化や堆積記録の調査結果を基に、過去百万年間～最近十年間スケールの環境変遷史や災害史を復元する。
4. 火山灰層序、放射性同位体測定や歴史記録などを研究し、これらの時間指標としての有用性を高める。
5. モデリングを駆使して、火山活動・断層運動などの内作用と地形変化の相互関係を捉える。

3) 研究成果 (2012 年度)

原著論文・展望論文(査読付きの論文)

鈴木毅彦 2012. 北関東・東北地方南部のテフクロノロジー: 現状と展望 (2010 年度日本第四

- 紀学会学術賞受賞記念論文). 第四紀研究 **51**: 65-78.
- 阿部朋弥・白井正明 2013. 愛知県渥美半島の沿岸低地で見出された江戸時代の津波起源と推定されたイベント堆積物. 第四紀研究 **52**: 33-42.
- 植木岳雪・中尾賢一・西山賢一・森江孝志・竹村恵二・米延仁志・山田和芳・長谷川修一 2012. 地学系専門学協会による一般市民を対象としたアウトリーチ巡検の実践報告. 地学教育 **65**: 63-80.
- 植木岳雪・伊藤 孝・中野英之・小尾 靖・牧野泰彦 2012. 野外実習と室内実験を取り入れた学校教員向け巡検の実践報告: 地層のはぎ取り標本と簡易水路実験の授業での活用を目指して. 地質学雑誌 **118**: 387-392.
- 安藤広一・山崎晴雄 2012. ダイレイタンシーを考慮した CIP 法による砂層における断層関連撓曲の発生シミュレーション. 地震 **2** **65**: 135-149.

その他の論文（査読なしの論文，紀要・単行本の分担執筆を含む）

- 山崎晴雄 2013, 活断層や地震断層 乗り越える工学的対応の視点を, フジサンケイビジネスアイ, 2013年3月28日号, 19面.
- 大石雅之・松島喜雄・田中明子・西来邦章 2012. 「地質情報展 2011 ひと」におけるキッチン火山実験「小麦粉噴火による火山の成長」のレシピ. GSI 地質ニュース **1**: 115-119.
- 住田達哉・長 郁夫・中井未里・古川竜太・伊藤 忍・竹内圭史・巖谷敏光・七山 太・宮川歩夢・高橋雅紀・高橋美紀・安藤亮輔・水垣桂子・柳澤教雄・兼子尚知・佐藤卓見・渡辺真人・及川輝樹・今西和俊・芝原暁彦・吉川秀樹・竹原淳一・池津宏道・高橋美江・石塚吉浩・山崎誠子・廣田明成・大石雅之・西来邦章・宝田晋治・佐藤大介・尾崎正紀・松浦浩久・青矢睦月・内野隆之・植木岳雪・斎藤 眞・森尻理恵・西岡芳晴・内藤一樹・坂寄裕代・野々垣 Annie 淑恵・酒井キミ子・長津樹理・中川 充・宮城磯治・山口珠美・大坪 誠・武田直人・北島弘子・桑原保人・佐藤隆司・阿部信太郎・行谷佑一・落 唯史・加瀬祐子・竿本英貴・林田拓己・吉岡真弓・内田洋平・安川香澄・阪口圭一・古澤みどり・中山京子・大和田 朗・福田和幸・平林恵理・伏島祐一郎・吉川敏之 2013. 産総研一般公開, 地質分野有志企画「ジオドクトル 2012」コース. GSI 地質ニュース **2**: 37-39.
- 山崎誠子・大石雅之・西来邦章・廣田明成・古川竜太・高田 亮・石塚吉浩・宝田晋治・及川輝樹 2013. 一般公開報告「シースルー火山で火山の中を見てみよう」. GSI 地質ニュース **2**: 53-55.
- 田村糸子 2013. 「日野高校 地学のガイド」制作の取組み—中高生の科学部活動振興事業による支援を受けて. 平成 24 年度 東京都立日野高等学校研究紀要 **45**: 26-33.
- 笠原天生・鈴木毅彦・河尻清和 2013. 神奈川県相模原市北西部, 沢井川下流部の二つの埋没谷と葛原層相当層. 相模原市立博物館研究報告 **21**: 93-100.

Utsugawa, T. and Shirai, M. 2013. A study of the formation process of the Noshiro coastal dune, Akita Prefecture, northeastern Japan. *Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University* **48**: 1-11.

編著書（単著・共著・編集など，分担執筆は含まない）

日野高校地学部・田村糸子 2013. 日野高校地学のガイド. (独)科学技術振興機構, 60p.

報告書

新堀賢志・大石雅之 2012. 島下遺跡の火山学研究. 島の考古学研究会 調査研究報告書 4, 東京都三宅島 島下遺跡発掘調査報告書, 24-28.

書評

鈴木毅彦 2012. 書評（ハンス-ウルリッヒ シュミンケ著：隅田まり・西村裕一訳：火山学）. 第四紀研究 **51**: 313-314.

その他の報文（技術レポート，商業誌，解説・雑録など）

鈴木毅彦 2012. 研究委員会総括報告 4. テフラ・火山研究委員会. 第四紀通信 **19**: 11-12.

鈴木毅彦 2013. 「火山灰」をめぐる研究. 青淵 **766**: 19-21.

井上素子・楡井 尊・鈴木毅彦・田村俊和 2012. 『巡検 荒川上・中流域の第四紀ガイドブック 2012 年日本第四紀学会巡検案内書』日本第四紀学会.

Shirai, M. 2012. Sand grain transport process revealed by luminescence of feldspar grains around the Enshu Coast, central Japan. *Proceedings of the International Symposium on Sustainable Urban Environment 2012, TMU Symposium Series No.5 2012*: 45-46.

大石雅之・Nicolas VINET・下司信夫 2013. 火山灰粒子の岩石学的特徴から見た火山噴火様式とその推移の予測. 地質調査総合センター研究資料集 **573**: 31.

講演・学会発表

山崎晴雄 2012. 立川断層と地震－立川断層を知ろう－. 日野市職員研修会講演, 5月, 日野市.

山崎晴雄 2012. 立川断層と減災, 昭島街づくり市民会議なかがみ総会講演. 5月, 昭島市.

山崎晴雄 2012. 武蔵野台地と立川断層. 埼玉県立所沢高校 SPP (サイエンスパートナーシッププログラム) 講義, 5～6月, 所沢市.

山崎晴雄 2012. 東京の地震と活断層－立川断層と被害想定－. 2012年東京都地質調査業協会総会講演, 5月, 豊島区.

山崎晴雄 2012. 地震のメカニズムについて・立川断層について. 東村山市中央公民館市民講座, 6月, 東村山市.

山崎晴雄 2012. 立川断層について. 小金井市貫井南公民館小金井市老人大学講演, 6月, 小金井市.

- 山崎晴雄 2012. 立川断層と地震災害. 北多摩西部防火・防災会講演, 6月, 東大和市.
- 山崎晴雄 2012. 神奈川の自然と災害. 神奈川県立西湘高校 SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 講義, 6月, 小田原市.
- 山崎晴雄 2012. 立川断層と私たちの備えー正しく知って、備えて安心ー. 青梅市防災講演会, 7月, 青梅市.
- 山崎晴雄 2012. 立川断層って危ないのか?ー地震を知り, 正しく恐れようー. 昭島市自治会連合会防災講演会, 7月, 昭島市.
- 山崎晴雄 2012. 日野の地形・地質と自然災害. 都立七生特別支援学校研修会講演, 7月, 日野市.
- 山崎晴雄 2012. 日野市と「立川断層帯」～立川断層を知ろう～. 日野市防災講演会, 8月, 日野市.
- 山崎晴雄 2012. 立川断層についてー活断層の安全対策を考えるー. エコア講演会, 9月, 立川市.
- 山崎晴雄 2012. 地震を正しく理解し, 恐れ、備える. 昭島市民大学フォーラム講演会, 9～10月, 昭島市.
- 山崎晴雄 2012. 立川断層について. 都立東大和南高校宿泊防災訓練における講演会, 11月, 東大和市.
- 山崎晴雄 2012. 屋上からの山座同定 丘陵, 台地, 低地. 都立日野高校中高生の科学部活動振興事業 (科学技術振興機構), 11月, 日野市.
- 山崎晴雄 2012. どうなっているの立川断層. 小金井市東公民館分館市民講座, 11月, 小金井市.
- 山崎晴雄 2013. 断層、そして活断層とは何か? 日本エネルギー会議緊急シンポジウム, 1月, 目黒区.
- 山崎晴雄 2013. 知って備える立川断層. 小平市立公民館チーム小平講演会, 2月, 小平市.
- 山崎晴雄 2013. 地震への備えはー立川断層と首都直下型地震ー. 小金井市公民館本館市民講座講演, 2月, 小金井市.
- 山崎晴雄 2013. 立川断層と地震. 東京都新都市建設公社 技術講習会講演, 2月, 府中市.
- 山崎晴雄 2013. 立川断層帯地震にそなえる. 都立日野高校防災に関する講演会, 3月, 日野市.
- 山崎晴雄 2013. 今後の大地震にどう備えるかー立川断層と防災のコミュニティづくりー. 国立市公民館講座講演, 3月, 国立市.
- 鈴木毅彦 2012. 関東内陸部の第四紀地形変化とテフロクロロジー: テーマセッション趣旨説明とレビュー. 日本第四紀学会講演要旨集 42: 90-91, 8月, 熊谷.
- 鈴木毅彦 2012. 首都圏直下型地震と立川断層ー多摩の活断層研究の最前線. 朝日カルチャーセンター立川講座, 9月, 立川.
- 鈴木毅彦 2012. 銚子巡検: 銚子地域に分布する第四紀の連続海成層堆積物とテフラ: 屏風ヶ浦に露出する犬吠層群. 日本地質学会関東支部, 10月, 銚子.
- 鈴木毅彦 2013. 読図方法 (地形図の読み方と地形・地質の基礎). 平成 22 年度 緑のボランティア指導者等育成講座 (専門講習), 1月, 新宿.
- 鈴木毅彦 2013. 首都直下型地震と綾瀬川断層. 朝日カルチャーセンター・ラフレさいたま, 3月,

さいたま.

- 鈴木毅彦・青木かおり・河合貴之・坂本竜彦・飯島耕一 2012. 下北半島東方沖「ちきゅう」C9001 コア中の中期更新世テフラ層序とその陸域への応用. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: HQR23-14 (CD-ROM), 5 月, 幕張.
- 鈴木毅彦・斎藤はるか・今泉俊文 2013. 会津盆地西部における第四紀後期テフラと会津盆地西縁断層帯の活動. 2013 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **83**: 161, 3 月, 熊谷.
- 青木かおり・鈴木毅彦・河合貴之・坂本竜彦・飯島耕一 2012. 下北沖 C9001C および C9002A/B コア中の中・後期更新世テフラ層序. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: MIS27-P23 (CD-ROM), 5 月, 幕張.
- 青木かおり・池原 研・三浦英樹・鈴木毅彦 2012. グリーンランド氷床コアと日本周辺海域から採取された海底堆積物コアの D/O サイクル対比に基づく広域テフラの高精度編年. 日本第四紀学会講演要旨集 **42**: 88-89, 8 月, 熊谷.
- Ishiyama, T., Sugito, N., Echigo, T., Sato, H. and Suzuki, T. 2012. Rare normal faulting earthquake induced by subduction megaquake: example from 2011 Tohoku-oki earthquake. EGU General Assembly 2012, April, Vienna.
- 廣内大助・石山達也・鈴木毅彦・今泉俊文・佐藤善輝・丸山陽央・細矢卓志・橋本智雄 2012. ボーリング調査による高田平野東縁断層帯の上下平均変位速度. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: SCG64-P07 (CD-ROM), 5 月, 幕張.
- 白井正明・伊藤拓馬・大村亜希子 2012. 遠州トラフ表層堆積物の過去約 100 年間の堆積速度. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: HGC036-05 (CD-ROM), 5 月, 幕張.
- 白井正明・伊藤拓馬・大村亜希子 2012. 熊野トラフ表層堆積物より見出された過去約 100 年間の堆積速度変化. 日本堆積学会 2012 年札幌大会講演要旨集: 46, 6 月, 札幌.
- 白井正明・林崎 涼・宇津川喬子・向山康利貴・村岸 純 2012. 仙台空港周辺の海浜で見出された東北地方太平洋沖地震津波により形成されたと考えられる堆積物. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: MIS25-P01 (CD-ROM), 5 月, 幕張.
- 大村亜希子・池原 研・芦寿一郎・白井正明 2012. 有機炭素分析による海底地震および洪水起源堆積物の特徴. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: HGC036-P06 (CD-ROM), 5 月, 幕張.
- 大村亜希子・池原 研・芦 寿一郎・片山 肇・白井正明 2012. 半遠洋性泥に対する海底地震・洪水堆積物の特徴, 有機炭素分析による検討. 日本堆積学会 2012 年札幌大会講演要旨集: 99, 6 月, 札幌.
- 植木岳雪・中尾賢一・西山賢一 2012. 日本第四紀学会の 2011 年度のパブリックアウトリーチ活動: 市民向けの野外巡検, ミニ講演会, 石の楽器の演奏会. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: GZZ02-06 (CD-ROM), 5 月, 幕張.
- 植木岳雪 2012. 地球惑星科学の初等・中等教育. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会, 5 月, 幕張.

- 植木岳雪・船引彩子・竹村貴人・斎藤広隆 2012. 関東平野南部の東京都世田谷区，府中市で掘削されたボーリングコアの古地磁気層序. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: HQR23-02 (CD-ROM) , 5月, 幕張.
- 植木岳雪・納谷友規・水野清秀 2012. 関東平野中央部の深層ボーリングコアの古地磁気層序. 日本第四紀学会講演要旨集 42: 8-9, 8月, 熊谷.
- 植木岳雪 2012. 香川県西部の三豊層群の古地磁気層序. 日本地質学会第 119 年年会講演要旨集: 105, 9月, 大阪.
- 大石雅之・下司信夫・篠原宏志・Nicolas VINET 2012. 細粒火山灰の構成粒子観察に基づく霧島火山新燃岳 2011 年噴火の噴火様式変化の考察. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: SVC50-P40 (CD-ROM), 5月, 幕張.
- 大石雅之・下司信夫・Nicolas VINET・篠原宏志 2012. ブルカノ式噴火によるテフラの物質科学的特徴とその噴火プロセス. 日本第四紀学会講演要旨集 42: 66-67, 8月, 熊谷.
- 大石雅之・西来邦章・下司信夫・古川竜太 2012. ブルカノ式噴火における，噴火直後のテフラの分布特性—桜島火山昭和火口の活動による噴火を例に— . 日本第四紀学会講演要旨集 42: 234-235, 8月, 熊谷.
- 大石雅之・西来邦章・下司信夫・古川竜太・石塚吉浩・及川輝樹・廣田明成・田中明子・三輪学央 2012. 桜島火山におけるリアルタイム降灰調査の概要. 日本火山学会講演予稿集: 26, 10月, 御代田.
- Oishi, M., Vinet, N., Geshi, N., and Shinohara, H. 2012. Variation of the grain compositions in the ash from the 2011 eruption of Shinmoedake, Kirishima volcano, Japan: insights into the conduit processes. *Geophysical Research Abstracts, EGU General Assembly 2012* 14: EGU2012-9563, April, Vienna.
- Nicolas VINET・大石雅之・下司信夫・篠原宏志・東宮昭彦 2012. 霧島火山新燃岳 2011 年噴出物の結晶サイズ分布，化学的手法による，火道浅所のマグマ上昇ダイナミクスおよびタイムスケール. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: SVC50-P39 (CD-ROM), 5月, 幕張.
- 小林 淳・水上啓治 2012. 恐山火山外輪山の年代と火山活動史—小目名沢石英安山岩の恐山火山の活動史上の位置づけに着目して— . 日本第四紀学会講演要旨集 42: 14-15, 8月, 熊谷.
- 近藤玲介・塚本すみ子・工藤 崇・遠藤邦彦・小林 淳・坂本竜彦 2012. レス堆積物の pIRIR 年代測定による十和田火山周辺におけるテフラ降下年代の推定. 日本第四紀学会講演要旨集 42: 250-251, 8月, 熊谷.
- 土屋美穂・萬年一剛・小林 淳・福岡孝昭 2012. 箱根火山まで飛来した富士山貞観噴火の褐色火山ガラス. 日本第四紀学会講演要旨集 42: 74, 8月, 熊谷.
- 土屋美穂・萬年一剛・小林 淳・福岡孝昭 2012. 箱根火山大涌谷水蒸気爆発堆積物層位の見直し. 日本火山学会講演予稿集: 142, 10月, 御代田.
- 田村糸子・山崎晴雄・岡田 誠・水野清秀 2012. 房総半島南端千倉層群における鮮新統一更新統境界層準の古地磁気 - 酸素同位体複合層序と広域テフラ対比—テフラ年代値の高精度化の試み— . 日本第四紀学会 2012 年大会講演要旨集 42: 140-141, 8月, 熊谷.

- 岡田 誠・所 佳美・畠山晃寿・田村糸子 2012. 房総半島に分布する鮮新-更新統千倉層群の複合層序と古海洋的研究. 日本地質学会 119 年学術大会講演要旨集: 104, 9 月, 大阪.
- 安藤広一・山崎晴雄 2012. 1999 年台湾 ChiChi 地震で発生した地表地震断層の断層傾斜角の推定. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: SSS35-03(CD-ROM), 5 月, 幕張.
- 安藤広一・山崎晴雄 2012. 地層変形シミュレーションを用いた伊勢原断層の断層傾斜角および活動履歴の推定. 日本第四紀学会講演要旨集 42: 18-19, 8 月, 熊谷.
- 安藤広一・山崎晴雄 2012. 地層変形シミュレーションを用いた 2008 年岩手・宮城内陸地震(Mj 7.2)で発生した断層撓曲の発生条件の推定. 日本第四紀学会講演要旨集 42: 210-211, 8 月, 熊谷.
- 林崎 涼・白井正明・村岸 純 2012. 福島県新地町釣師浜の後浜で確認された東北地方太平洋沖地震津波により形成されたと考えられる堆積物. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: MIS25-P02 (CD-ROM), 5 月, 幕張.
- Hayashizaki, R. and Shirai, M. 2012. Tsunami deposits caused by the March 2011 Tohoku-oki Tsunami in the Soma region, Fukushima Prefecture, northeast Japan. *Proceedings of AGU Fall Meeting 2011*: NH43B-1640, December, San Francisco.
- 笠原天生・鈴木毅彦・河合貴之・今泉俊文 2012. 郡山盆地地下における中期更新世降下テフラと火砕流堆積物の層序. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: HQR23-15 (CD-ROM) , 5 月, 幕張.
- 河合貴之・鈴木毅彦 2012. 宮城県西部, 名取川流域において中期更新世に形成された本砂金段丘群. 日本第四紀学会講演要旨集 42: 160-161, 8 月, 熊谷.
- 河合貴之・鈴木毅彦 2013. 宮城県中部, 名取川流域の地形発達史. 2013 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 83: 162, 3 月, 熊谷.
- 斎藤はるか・鈴木毅彦 2012. 安達太良火山東麓に分布する伏拝岩屑なだれ堆積物と二本松丘陵の地形発達. 日本第四紀学会講演要旨集 42: 16-17, 8 月, 熊谷.
- 栗原美貴・遠藤邦彦・鈴木茂・植村杏太 2012. 武蔵野台地・淀橋台地境界付近における最終氷期の古植生と古環境. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: APE33-P22 (CD-ROM), 5 月, 幕張.
- 栗原美貴・植村杏太・鈴木 茂・遠藤邦彦 2012. 武蔵野台地およびその周辺における最終氷期の植生変遷. 日本第四紀学会講演要旨集 42: 166-167, 8 月, 熊谷.

2 気候学研究室

1) スタッフ

松本 淳 (まつもと じゅん) 教授 / 博士 (理学)
モンスーン気候学, 環境気候学

高橋 日出男 (たかはし ひでお) 教授 / 理学博士
都市気候, 気候変動, 降水現象に関する気候学

赤坂 郁美 (あかさか いくみ) 助教 / 博士 (理学)
気候変動, 熱帯に関する気候学, 都市気候

高橋 洋 (たかはし ひろし) 助教 / 博士 (理学)
気候システム学, 雲降水気候学, 領域気候モデリング

2) 研究概要

気候学研究室では、地球規模での気候変化から、アジアモンスーンの形成・変動メカニズム、都市のヒートアイランド現象や集中豪雨のメカニズムの解析まで様々なスケールでの気候の研究を行なっている。研究手法についても、現地での気象観測、気象観測資料や客観解析資料・衛星観測データなどのデータ解析、数値モデルを用いた気候のメカニズムの解明、と多岐にわたっており、現象のモニタリング、プロセス解明、人間活動との関係、将来予測など、多角的に気候の研究に取り組んでいる。そのため、気候や気候変化に興味のある学生さんをお待ちしている。

本研究室で現在行なわれている主な研究テーマとしては、次のようなものがある。

- 1) 日本および世界における気候変化・気候変動の研究
- 2) アジアモンスーン域における気候変動や季節変化の研究
- 3) ヒートアイランド現象や都市型豪雨などの都市気候の発現プロセスや発生機構、都市大気の詳細構造の観測研究
- 4) 熱帯域を中心とする地表面状態と雲・降水活動の相互作用に関する研究
- 5) 日本を中心とする歴史時代の気候復元に関する研究

3) 研究成果 (2012 年度)

原著論文・展望論文(査読付きの論文)

Chen, T.C., Tsay, J.D., Yen, M.C. and Matsumoto, J. 2013. The winter rainfall of Malaysia, *J. Climate*

26: 936-958, doi: 10.1175/JCLI-D-12-00174.1.

Wu, P.M., Fukutomi, Y. and Matsumoto, J. 2012. The impact of intraseasonal oscillations in the tropical atmosphere on the formation of extreme Central Vietnam precipitation. *SOLA* **8**: 057-060, 10.2151/sola.2012-015.

内山真悟・松本 淳・高橋 洋・金森大成 2012. 熱帯降雨観測衛星 TRMM を用いたアフリカ大陸熱帯域における雷活動と降水の季節変化. 地学雑誌 **121**: 986-997.

鈴木博人・中北英一・高橋日出男 2013. 離散的に配置された雨量計の大雨の捕捉性能に関する解析. 水工学論文集 **57** (CD-ROM) .

Takahashi, H.G. 2012. Orographic low-level clouds of Southeast Asia during the cold surges of the winter monsoon, *Atmos. Res.*, doi:10.1016/j.atmosres.2012.07.005

高橋 洋・浅田寛太・赤坂郁美・松本 淳 2012. 日本における台風接近・通過時の危険半円外での強風. 風工学シンポジウム論文集 **22**: 115-120.

橋 泰大・高橋 洋・清水昭吾 2012. 練馬区光が丘における植生の暑熱環境緩和効果の観測的研究. 日本ヒートアイランド学会論文集 12A002.

Makita, H., Naruse, Y. and Yamaguchi, K. 2012. Caspian sea level in recent years. *Umi To Sora* **88**(2): 1-20.

Nguyen-Thi, H.A., Matsumoto, J., T. Ngo-Duc and Endo, N. 2012. A climatological study of tropical cyclone rainfall in Vietnam. *SOLA* **8**: 041-044, doi:10.2151/sola.2012-011.

廣井 慧・横山 仁・中谷 剛・瀬戸芳一・安藤晴夫・三隅良平・妙中雄三・中山雅哉・砂原秀樹 2013. 短時間強雨等の局地的極端現象に対する高校生の防災意識向上に向けた気象センサネットワークの活用. 情報処理学会論文誌コンシューマ・デバイス&システム **3**(1): 10-20.

その他の論文(査読なしの論文、紀要・単行本の分担執筆を含む)

松本 淳・赤坂郁美 2012. 南アジア. 立川武蔵・杉本良男・海津正倫編『南アジアの気候』67-75, 朝倉書店.

村山祐司・熊木洋太・菊地俊夫・松本 淳・呉羽正昭・小出 仁 2012. 序：世界の地理学—2013年京都国際地理学会議に向けて—. 地学雑誌 **121**: 579-585.

Murayama, Y., Kumaki, Y., Kikuchi, T., Matsumoto, J., Kureha, M. and Koide, H. 2012. Special Issue on “Geography in the World” for the IGU (International Geographical Union) Kyoto Regional Conference 2013. 地学雑誌 **121**: 743-749.

Satomura, T., Katsumata, M., Mori, S., Yokoi, S., Matsumoto, J., Ogino, S.-Y. and Kamimera, H. 2013. To understand typhoons' behavior over Indochina. *Journal of Disaster Research* **8**: 153-154

森島 済・赤坂郁美 2012. フィリピン中部ルソン地域の気候風土と農業. 横山 智・荒木一視・松本淳編『モンスーンアジアのフードと風土』36-50, 明石書店.

浅田晴久 2012. インド北東地方の稲作とモチ米食品. 横山 智・荒木一視・松本 淳編『モンスーンアジアのフードと風土』97-113, 明石書店.

Asada, H. 2012. Climate change and agriculture from farmers' view: A case study in the rural village of Assam. *Geo Views* 1: 30-34.

浅田晴久・松本 淳 2012. 南アジアにおける降雨, 洪水と稲作. 横山 智・荒木一視・松本淳編『モンスーンアジアのフードと風土』51-67, 明石書店.

瀬戸芳一・横山仁・安藤晴夫・廣井 慧・藤原孝行・高橋日出男 2012. 高密度地上気象モニタリング網を用いた東京都区部における短時間強雨事例の解析. 東京都環境科学研究所年報 2012, 184-185.

廣井 慧・横山 仁・中谷 剛・山内正人・瀬戸芳一・安藤晴夫・三隅良平・中山雅哉・砂原秀樹 2012. 短時間強雨等の局地的極端現象に対する高校生の防災意識向上に向けた気象センサネットワークの活用. 東京都環境科学研究所年報 2012, 186-193.

編著書（単著・共著・編集など、分担執筆は含まない）

横山 智・荒木一視・松本 淳編 2012. 『モンスーンアジアのフードと風土』260p., 明石書店.

高橋日出男（監修） 2012. 気候帯でみる 自然環境 ①熱帯. 少年写真新聞社, 32p.

高橋日出男（監修） 2012. 気候帯でみる 自然環境 ②乾燥帯. 少年写真新聞社, 32p.

高橋日出男（監修） 2013. 気候帯でみる 自然環境 ③温帯. 少年写真新聞社, 32p.

高橋日出男（監修） 2013. 気候帯でみる 自然環境 ④冷帯・高山気候. 少年写真新聞社, 32p.

高橋日出男（監修） 2013. 気候帯でみる 自然環境 ⑤寒帯. 少年写真新聞社, 32p.

Asada, H. 2012. Climate and Rice Cropping Systems in the Brahmaputra Basin: *An Approach to Area Studies on Bangladesh and Assam*. Dhaka: Rubi Enterprise.

報告書

なし

書評

なし

その他の報文（技術レポート、商業誌、解説・雑録など）

赤坂郁美 2012. 動的地球環境 - 異分野の視点に触れて. シリーズ「発想のたまご」, 水文・水資源学会誌 25 (3): 174.

浅田晴久 2012. ブラマプトラ川流域における気候と稲作. 地理学関係博士論文要旨(2011年度). 地理学評論 85: 416.

講演・学会発表

松本 淳 2012. 2011年タイの洪水 モンスーンアジアの自然と人間を考える. 第11回環境サイエンスカフェ, 10月, 東京.

- Matsumoto, J., Akasaka, I., Villafuerte, M., Kubota, H., Endo, N., Ogino, S.-Y., Wu, P., Hattori, M., Inoue, T., Kamahori, H., Kamiguchi, K., Tamagawa, K., Ikoma, E. and Koike, T. 2012. Recent activities in MAHASRI and AMY. The 8th Environment and Human Activity in South Asia -Natural Disaster and Human Activity in the North-east Indian Subcontinent and Indochina, December, Uji.
- Matsumoto, J., Endo, N., Nguyen-Thi, H.A., and Lwin, T. 2012. Long-term trend of extreme precipitation in Southeast Asia. *The 32nd International Geographical Congress*. C08.04-16, August, Cologne, Germany.
- Matsumoto, J., Kamimura, K., Suzuki, H., and Takahashi, H. 2012. Long-term changes of heavy precipitation in Japan. The 32nd International Geographical Congress. C08.04-05, August, Cologne, Germany.
- Matsumoto, J., Kubota, H., Xu, J., Endo, N., Inoue, T., Ogino, S.-Y., Mori, S., and Takata, K. 2012. Agro-climatological data-base in Southeast Asian monsoon region. Monsoon Asia Agro-environmental Research Consortium (MARCO) Symposium, September, Tsukuba.
- 松本 淳・Nguyen-Thi, H.A.・遠藤伸彦 2012. ベトナムにおける豪雨の長期変化. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会: HSC24-14(CD-ROM), 5 月, 幕張. (Invited)
- 松本 淳・荻野慎也・佐 培明・遠藤伸彦・久保田尚之・服部美紀・Cayanan, E.O.・Espinueva, S.R.・Yumul, G.P.J.・Servando, N.T.・Chu, T.Q.・Nguyen, T.T.T.・Tran, V.S.・Nguyen, V.T. 2012. VPRES2010 集中観測で捉えられた中部ベトナム東岸における対流活動の特徴. 日本気象学会 2012 年度秋季大会予稿集 **102**: 266, 10 月, 札幌.
- Matsumoto, J., Ogino, S.-Y., Wu, P.-M., Endo, N., Kubota, H., Hattori, M., Kamimura, H., Mori, S., Hamada, J.-I., Yamanaka, M.D., Masuda, K., Nguyen, V.T., Tran, Q.C., Cayanan, E.O., Espinueva, S.R. and Servando, N.T. 2012. Vietnam Philippines Rainfall Experiment 2010 (VPRES2010). *AOGS-AGU Joint Assembly 2012*: AS35-A008 (CD-ROM), August, Singapore.
- Matsumoto, J., Takahashi, H., Ngo-Duc, T., Nguyen-Thi, T.B., Nguyen-Thi, H.A., Endo, N. and Nguyen, V.T. 2012. Precipitation climatology in Vietnam by utilizing satellite and ground based observations. The 4th TRMM and GPM International Science Conference, November, Tokyo.
- 松本 淳・内山真悟・高橋 洋・山根悠介・高橋日出男・金森大成 2012. アジア・オーストラリアモンスーン地域における TRMM-LIS データを用いた気候学的発雷頻度. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: HTT08-08 (CD-ROM) , 5 月, 幕張. (Invited)
- 松本 淳・Villafuerte, M.・高橋 洋・赤坂郁美・久保田尚之 2012. フィリピンにおける降雨特性の長期変化傾向. 2012 年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **82**: 113, 10 月, 神戸.
- Matsumoto, J., Villafuerte M., Takahashi, H.G., Akasaka, I. and Kubota, H. 2013. Long-term trends and variability of rainfall extremes in the Philippines. The Second International Workshop of Climatic Changes and Their Effects on Agriculture in Asian Monsoon Region. March, Baguio, Philippines.
- 遠藤伸彦・井上知栄・松本 淳 2012. ベトナム中部における秋季降水量の 20 世紀における長期変動. 日本気象学会 2012 年度秋季大会講演予稿集 **102**: 273, 10 月, 札幌.

- 濱田純一・服部美紀・森 修一・松本 淳・山中大学・Syamsudin, F. 2012. 赤道越え北風サージの北西ジャワ降水経年変動への寄与. 日本気象学会 2012 年度秋季大会講演予稿集 **102**: 270, 10 月, 札幌.
- Hamada, J.-I., Mori, S., Wu, P.-M., Kamimera, H., Hattori, M., Yamanaka, M.D., Matsumoto, J., Arbain, A.A., Lestari, S. and Syamsudin, F. 2012. Variations of atmospheric vertical structure with the passages of Madden-Julian Oscillation over the coastal heavy rainband along Sumatera Island - Preliminary results of Harimau2011 campaign observation -. *AOGS-AGU Joint Assembly 2012*: AS35-A014(CD-ROM), August, Singapore.
- Hattori, M., Matsumoto, J., Ogino, S.-Y., Wu, P.-M., Endo, N., Kubota, H., Kamimera, H., Enomoto, T., Miyoshi, T. and Yamane, S. 2012. Impact of radiosonde observations in Vietnam Philippines Rainfall Experiment 2010 (VPREX2010). *AOGS-AGU Joint Assembly 2012*: AS35-A013 (CD-ROM), August, Singapore.
- 服部美紀・森 修一・松本 淳 2012. 南シナ海における赤道越え北風サージと海大陸の降水量分布. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: AAS23-P10(CD-ROM), 5 月, 幕張. Hayashi, T., Ando, K., Asada, H., Matsumoto, J., Yamane, Y., Kiguchi, M., Murata, F., and Terao, T. 2012. Impact of cyclone and flood on the human activities in South Asia. *Proceedings of the International Symposium Cyclone and Span of Sustainability*: 19, October, Uji.
- 井上知栄・松本 淳・遠藤伸彦 2012. 東南アジアにおける秋季降水量の長期変化傾向. 第 4 回熱帯気象研究会, 9 月, 高知.
- 井上知栄・松本 淳・遠藤伸彦 2012. 東南アジアにおける秋季降水量の長期変化傾向. 日本気象学会 2012 年度秋季大会講演予稿集 **102**: 274, 10 月, 札幌.
- Inoue, T., Matsumoto, J. and Endo, N. 2012 Long-term Trends of Rainfall in Boreal Autumn over Southeast Asia. Monsoon Asia Agro-environmental Research Consortium (MARCO) Symposium, September, Tsukuba.
- Inoue, T. Matsumoto, J., and Endo, N. 2013. Changes in boreal autumn rainfall in the recent 50 years (1961-2010) over the Indochina Peninsula. The Second International Workshop of Climatic Changes and Their Effects on Agriculture in Asian Monsoon Region, March, Baguio, Phillipines.
- Kubota, H., Chan, J.C.L, Matsumoto, J. and Ginn, E.W.L. 2012. Shifts in Typhoon Tracks over the western North Pacific during the 20th century based on the recovery of historical data. The 30th AMS Conference on Hurricanes and Tropical Meteorology, April, Miami, USA.
- Mori, S., Endo, N. and Matsumoto, J. 2013. Asian monsoon and water cycle - variability of wind and precipitation -. Environmental Biogeochemical Cycle Research Program (EBCRP) Workshop on Asian Monsoons and Biogeochemical Cycles Research, February, Yokohama.
- 森 修一・濱田純一・服部美紀・上米良秀行・一柳錦平・伍 培明・Arbain, A.A.・Lestari, S.・Syamsudin, F.・田上雅浩・松本 淳・山中大学 2012. インドネシア・スマトラ沿岸豪雨帯の形成過程について—HARIMAU2011 集中観測結果速報—. 日本気象学会 2012 年度春季大会予稿集 **101**: 105,

5月, 茨城.

森 修一・濱田純一・服部美紀・上米良秀行・一柳錦平・伍 培明・Arbain, A.A.・Lestari, S.・Syamsudin, F.・田上雅浩・松本 淳・山中大学 2012. インドネシア・スマトラ沿岸豪雨帯の形成過程について—HARIMAU2011 集中観測結果概要 (第2報)—. 日本気象学会 2012 年度秋季大会予稿集 **102** : 103, 10月, 札幌.

Mori, S., Hamada, J.-I., Hattori, M., Kamimera, H., Wu, P.-M., Syamsudin, F., Arbain, A.A., Matsumoto, J. and Yamanaka, M.D. 2012. Formation Process of Coastal Heavy Rainband (CHER) Along Sumatera Island, Indonesia—Preliminary Results of Harimau2011 Campaign Observation. *AOGS-AGU Joint Assembly 2012: AS19-A015*(CD-ROM), August, Singapore.

森 修一・濱田純一・服部美紀・上米良秀行・伍 培明・一柳錦平・Fadli Syamsudin・Ardhi A.Arbain・Sopia Lestari・松本 淳・山中大学 2012. HARIMAU2011 MP レーダー観測によるスマトラ沿岸豪雨帯の特徴. 第6回 MU レーダー・赤道大気レーダーシンポジウム, 8月, 宇治.

森 修一・濱田純一・服部美紀・上米良秀行・伍 培明・一柳錦平・Fadli Syamsudin・Ardhi A. Arbain・Sopia Lestari・松本 淳・山中大学 2012. インドネシア・海大陸域におけるメソ観測研究. 第38回メソ気象研究会/TOGA-COARE20周年記念研究会, 10月, 札幌.

荻野慎也・藤原正智・塩谷雅人・長谷部文雄・松本 淳・Nguyen-Thi, H.A. and Nguyen-Thi, T.T. 2012. ハノイのオゾンゾンデ観測に基づく北半球亜熱帯域におけるオゾン変動. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: AAS22-P15 (CD-ROM) , 5月, 幕張. (Invited)

Ogino, S.Y., Fujiwara, M., Shiotani, M., Hasebe, F., Matsumoto, J., Nguyen-Thi, H.A. and Nguyen-Thi, T.T. 2012. Ozone variations over the Northern subtropical region revealed by ozonesonde observations in Hanoi. A U.S.-Japan Workshop on the Tropical Tropopause Layer: State of Current Science and Future Observational Needs, October, Honolulu, USA.

玉川勝徳・生駒栄司・絹谷弘子・大柳美佐・太田 哲・小池俊雄・喜連川 優・松本 淳 2012. GEOS/AMCI と WCRP/AMY における In-situ データアーカイブ. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会:ACG36-P09 (CD-ROM) , 5月,幕張. (Invited)

戸所 隆・石丸哲史・小口 高・岡本耕平・小田宏信・高阪宏行・高橋眞一・松本 淳・村山祐司・山川充夫・山下博樹・吉田容子 2012. 大学地理教育の質保証に関する教育課程編成上の参照基準の在り方. 2012 年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **82**: 21, 10月, 神戸.

Wu, P.-M., Fukutomi, Y. And Matsumoto, J. 2012. The Impact of Intraseasonal Oscillations in the Tropical Atmosphere on the Formation of Extreme Central Vietnam Precipitation. *AOGS-AGU Joint Assembly 2012: AS35-A021* (CD-ROM), August, Singapore.

伍 培明・福富慶樹・松本 淳 2012.インドシナ半島東岸での豪雨と MJO、ENSO との関連. 日本気象学会 2012 年度秋季大会講演予稿集 **102**: 447, 10月, 札幌.

伍 培明・濱田純一・森 修一・山中大学・松本 淳・Syamsudin, F. 2012. スマトラ島の対流活動による西沖上部対流圏の夜間加湿効果. 日本気象学会 2012 年度春季大会予稿集 **101** : 107, 5月, つくば.

- 徐 健青・久保田尚之・服部美紀・松本 淳・Cayanan, E.O. 2012. フィリピン Laoag での地表面日射量・放射量観測. 日本気象学会 2012 年度秋季大会講演予稿集 **102**: 213, 10 月, 札幌.
- Xu, J., Matsumoto, J., Kubota, H., Akasaka, I., Kajikawaz, Y., Haginoya, S, Miki, H., Inoue, T. and Cayanan, E.O. 2013: Onset signal of the summer monsoon observed from the surface downward longwave radiation in Laoag of Philippines. The Second International Workshop of Climatic Changes and Their Effects on Agriculture in Asian Monsoon Region. March, Baguio, Philippines.
- 山下幸三・大矢浩代・土屋史紀・高橋幸弘・松本 淳・久保田尚之・荻野慎也・服部美紀 2012. 海洋大陸における落雷活動モニタリングのための VLF 帯空電計測. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: HTT08-01 (CD-ROM) , 5 月, 幕張. (Invited)
- 鈴木博人・中北英一・高橋日出男 2013, 離散的に配置された雨量計の大雨の捕捉性能に関する解析. 第 57 回水工学講演会 #50 (CD-ROM), 3 月, 名古屋.
- 高橋一之・高橋日出男 2012. 夏季における東京都区部の風系とヒートアイランド現象との関係 (第 6 報) 一気圧計の設置高度に誤差がある場合の気圧データの補正一. 日本気象学会 2012 年度春季大会講演予稿集 **101**: 219, 5 月, つくば.
- Akasaka, I. 2012. Long-term variability of rainfall in the Philippines since the late 19th century. *Japan-The Netherlands Joint Workshop on Historical Climatology*, October, Tokyo.
- Akasaka, I. 2013. Long-term variability of rainfall in the Philippines since the 19th century. International Workshop“China Coastal Meteorology and Its Historical Research, Imperial Media-Network and Science”, January, Hong Kong, China.
- Akasaka, I., Kubota, H., Villafuerte II. M., Cayanan, E.O. and Matsumoto, J. 2013. Seasonal march of rainfall and its year-to-year variations in the Philippines. The Second International Workshop of Climatic Changes and Their Effects on Agriculture in Asian Monsoon Region, March, Baguio, Philippines.
- Akasaka, I., Morishima, W., Kubota, H., Matsumoto, J. and Cayanan, E.O. 2012. Long-term variability of rainfall characteristics in the Philippines for the period 1910-2010. The 32nd International Geographical Congress, August, Cologne, Germany.
- 赤坂郁美・ビリャフーテ マルセリーノ・久保田尚之・松本 淳 2012. 20 世紀以降のフィリピンにおける雨季入り・雨季明けの長期変動. 2012 年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **82**: 157, 10 月, 神戸.
- Takahashi, H. G., Fujita, M. and Hara, M. 2012. Inter-comparison of precipitable water among reanalyses and its effect on downscaling in the tropics. AGU Fall meeting, December, San Francisco, USA.
- Takahashi, H. G., Hara, M., Yoshikane, T. and Fujita, M. 2012. A discrepancy in precipitable water among the major reanalyses over tropics and its effect on downscaling. *European Geosciences Union, General Assembly 2012*, April 22-27, Vienna, Austria.
- 高橋 洋・足立幸穂・津川元彦・吉兼隆生・木村富士男 2012. 夏季における内湾の海面水温が都市気候に及ぼす影響の初期解析, 水文・水資源学会 2012 年度研究発表会要旨集: 244-245, 9 月,

広島.

- Takahashi, H. G., H-J. Kim, Tanaka, K., Takata, K., Saito, K. and Yasunari, T. 2012. Sensitivity study on the impacts of biogenic VOC on the Asian monsoon climate in dry and wet seasons using MIROC5. European Geosciences Union, General Assembly 2012, April, Vienna, Austria.
- Fujita, M., Hara, M. and Takahashi, H. G. 2012. Diurnal cycle of precipitation over the eastern Indian Ocean off Sumatra Island during different IOD phases. European Geosciences Union, General Assembly 2012, April, Vienna, Austria.
- Tsugawa, M., Adachi, S. A., Takahashi, H. G., Hara, M., Yoshikane, T. and Kimura, F. 2012. Effect of the Ise Bay SST on the summer air temperature of the Nagoya urban area, *AGU Fall meeting*, December, San Francisco, USA.
- Sakai, D., Takahashi, H. G., Matsumoto, J. and Mizuta, R. 2013. Future change of pressure patterns during extremely hot temperature events in August in Japan predicted by MRI-AGCM3.2H. The Second International Workshop of Climatic Changes and Their Effects on Agriculture in Asian Monsoon Region, March, Baguio, Philippines.
- 坂井大作・高橋 洋・松本 淳・水田 亮. 2013. MRI-AGCM3.2H を用いた 8 月の日本における極端高温時の気圧配置の将来変化. 2013 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **83**: 337, 3 月, 熊谷.
- Asada, H. 2012. Understanding climate change from rice cultivation: Lessons from local farmers in Assam, India. The 32nd International Geographical Congress, August, Cologne, Germany.
- Asada, H. 2012. Ecology and ethnicity of the Brahmaputra valley in Assam, India. International Workshop on Changing Environment and Development in Rural Communities in Bhutan and other Asian countries, September, Kanglung, Bhutan.
- 浅田晴久 2012. 村落センサスでみるインド・アッサム州、ブラマプトラ川渓谷の民族と生態. 2012 年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **82**: 86, 10 月, 神戸.
- 浅田晴久・坂井大作・松本 淳・竹内 渉 2012. 高解像度地表水データを用いたブラマプトラ川流域における稲作水文環境. 第 8 回南アジアおよびインドシナにおける自然環境と人間活動に関する研究集会ー人間活動に対するサイクロン・洪水の影響ー, 12 月, 宇治.
- Asada, H., Sakai, D., Matsumoto, J. and Takeuchi, W. 2013. Hydrological environment and Boro rice cultivation in Assam and Bangladesh. International Workshop on People's Centered Practice towards Harmonious Development in Asia, March, Hatiya, Bangladesh.
- 浅田晴久・坂井大作・松本 淳・竹内 渉. 2013. 高解像度地表水データでみるブラマプトラ川下流域の水文環境と稲作. 2013 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **83**: 322, 3 月, 熊谷.
- Islam, M.N., Bala, S.K. and Asada, H. 2013. Rethinking of flood warning system to consider the char-lands in Bangladesh. International Conference on Water Resources of South Asia: Conflicts to Cooperation (WARSA-CC), January, Dhaka, Bangladesh.
- Dzung, N.L. and Matsumoto, J. 2012. Climatological onset date of summer monsoon over Vietnam. The

- 8th Natural Environment and Human Activity Workshop in South Asia and Indochina – Human Activity Process Affected by Cyclone and Flood, December, Uji.
- Dzung, N.L. and Matsumoto, J. 2013. Climatological onset date of summer monsoon over Vietnam. The Second International Workshop on Climatic Changes and Their Effects on Agriculture in Asian Monsoon Region, March, Baguio City, Philippines.
- Dzung, N.L., Matsumoto, J. and Thanh, N.D. 2013. Climatological onset date of summer monsoon over different sub-climatic regions of Vietnam. The Monsoon Asia Hydro - Atmospheric Scientific Research and Prediction Initiative Workshop, March, Nagoya.
- 紺野祥平・泉 岳樹・高橋日出男 2012. 関東平野西部山地斜面における斜面温暖帯の特徴 – 表面温度と地形・植生の関係について –. 日本気象学会 2012 年度春季大会講演予稿集 **101**: 129, 5 月, つくば.
- Konno, S., Izumi, T. and Takahashi, H. 2012. Characteristics of a thermal belt on a mountain slope observed by a Terra/ASTER thermal infrared image in the western region of Kanto plain, Central Japan. *The 32nd International Geographical Congress Book of Abstracts* 30(USB), August, Cologne.
- Nguyen-Thi, H.A., Matsumoto, J. and Endo, N. 2012. Variations of tropical cyclone rainfall in the Vietnam coastal region. The 30th Conference on Hurricanes and Tropical Meteorology, April, Miami, USA.
- Nguyen-Thi, H.A., Matsumoto, J., Ngo-Duc, T. and Endo, N. 2012. Long-term trends of tropical cyclone rainfall in Vietnam. *The 8th Natural Environment and Human Activity Workshop in South Asia and Indochina – Human Activity Process Affected by Cyclone and Flood*, December, Uji.
- Nguyen-Thi, H.A., Matsumoto, J., Ngo-Duc, T. and Endo, N. 2013. Tropical cyclones and rainfall in Central Vietnam. The Monsoon Asia Hydro - Atmospheric Scientific Research and Prediction Initiative Workshop, March, Nagoya.
- 瀬戸芳一・横山 仁・安藤晴夫・廣井 慧・青木正敏・楠 研一・中山雅哉・高橋日出男 2012. 2011 年 8 月 26 日に東京都区部で発生した短時間強雨事例の解析—降水量分布と地上風系との関係について—. 日本気象学会 2012 年度春季大会講演予稿集 **101**: 115, 5 月, つくば.
- Seto, Y. and Takahashi, H. 2012. Local wind circulation and divergence field during daytime in summer over the Kanto Plain using the adjustment technique of observed wind with roughness parameter. *Proceedings of the International Symposium on Sustainable Urban Environment 2012 (ISSUE2012)*: 47-48, TMU Symposium Series No.5, November, Hachioji. (瀬戸芳一・高橋日出男 2012. 関東平野における夏季日中の収束・発散場と局地風循環—地表面粗度による観測風の補正手法を用いて—. 持続可能な都市環境学のための国際シンポジウム 2012 (ISSUE2012) 会議抄録 (TMU Symposium Series No.5): 137-138, 11 月, 八王子.)
- 瀬戸芳一・高橋日出男 2013. 関東平野の海風風系と北関東における高温との関係. 2013 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **83**: 5, 3 月, 熊谷.
- 廣井 慧・瀬戸芳一・松本 太・安藤晴夫・横山 仁 2012. 東京都環境科学研究所の取り組み. Live

- E! シンポジウム 2012, 9 月, 東京.
- 廣井 慧・山内正人・瀬戸芳一・安藤晴夫・横山 仁・中谷 剛・三隅良平・中山雅哉・砂原秀樹 2012. 短時間強雨等の局地的極端現象に対する高校生の防災意識向上に向けた気象センサネットワークの活用. マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2012)シンポジウム, 7 月, 加賀.
- Shimizu, S. and Takahashi, H. 2012. Seasonal variation in cool island effect of two urban green spaces. *The 32nd International Geographical Congress Cologne 2012 (IGC2012)*: 54, August, Cologne, Germany.
- 清水昭吾・菅原広史・成田健一・三上岳彦・萩原信介・高橋日出男 2012. 都市内緑地における冷気のにじみ出し現象と周辺市街地への気温低減効果. 日本気象学会 2012 年度秋季大会講演予稿集 **102**: 507, 10 月, 札幌.
- Villafuerte, M.Q. II, Matsumoto, J., Akasaka, I. and Cinco, T.A. 2013. Seasonal role of monsoon and ENSO on the rainfall extremes in the Philippines. The Monsoon Asia Hydro - Atmospheric Scientific Research and Prediction Initiative Workshop, March, Nagoya.
- Villafuerte, M.Q. II, Matsumoto, J., Akasaka, I. and Kubota, H. 2013. Long-term trends and variability of rainfall extremes in the Philippines. American Meteorological Society 93rd Annual meeting, January, Austin, USA.
- Villafuerte, M.Q. II, Matsumoto, J., Takahashi, H.G., Akasaka, I. and Kubota, H. 2012. Trends and variability in monsoon rainfall extremes in the Philippines. Monsoon Asia Agro-environmental Research Consortium (MARCO) Symposium, September, Tsukuba.
- 相場矢絵 2013. オーストラリアモンスーン域における対流活動の季節変化. 第 2 回 MAHASRI 国内研究集会, 3 月, 名古屋.
- Aiba, Y., Takahashi, H.G. and Matsumoto, J. 2012. Seasonal differences of cloud activity between the pre-monsoon and monsoon periods over the Australian monsoon region. The 4th TRMM and GPM International Science Conference, November, Tokyo.
- 相場矢絵・高橋 洋・松本 淳 2013. オーストラリアモンスーン域における対流活動の季節変化. 第 15 回環境リモートセンシングシンポジウム, 2 月, 千葉.

3 環境地理学研究室

1) スタッフ

渡邊 眞紀子 (わたなべ まきこ) 教授 / 学術博士
土壌地理学, 環境動態解析, 地考古学

川東 正幸 (かわひがし まさゆき) 准教授 / 博士 (農学)
土壌生態学, 環境化学, 生態系の物質循環

2) 研究概要

この研究室では、環境と人間とのダイナミックな関係に着目しながら、地域・地球環境の変化あるいは改変をいろいろな時・空間スケールの局面でとらえて、総合的に理解しようとする研究を展開している。そのため、自然地理学を基礎にして、土壌学、植物生態学、植物社会学、微生物学、菌学、林学、環境化学、情報科学、文化財科学などの諸科学と密接な連携を保ちながら、幅広い研究活動を行っている。研究手法としては、現地での土壌調査、動植物調査、陸水調査、聞き取り調査などの調査・モニタリング観測を基本とするが、リモートセンシングデータ等の利用・解析および現地で採取した各種の環境試料の理化学分析による環境動態の把握、分析・調査法の開発にも取り組んでいる。研究地域は国内から広く海外に及び、海外では、ヨーロッパ、ロシア、中国、東南アジア、北アフリカの各地域で、寒帯・熱帯・亜熱帯・半乾燥・砂漠地域の環境変化と人間対応の研究に重点を置いている。最近の主要なテーマには、以下のものがある。

- 1) 都市土壌の性状・機能の解明と分類・評価手法の開発 (国内共同研究)
- 2) 都市公園緑地の土壌調査技術の開発 (国内共同研究)
- 3) 冷温帯林の物質循環と土壌生態システムの解明 (国内共同研究)
- 4) エジプト西方砂漠における遺跡・水資源に関する地考古学的研究 (国際共同研究)
- 5) フィリピン・ピナツボ火山泥流地域の環境動態と災害復興 (国際共同研究)
- 6) モンゴル鉱山・都市地域における重金属汚染と環境リスク評価 (国際共同研究)
- 7) シベリア永久凍土域のタイガ林における森林火災と植生回復の関係 (国際共同研究)
- 8) 中国南部の酸性土壌改良のための生物資源利用の可能性 (国際共同研究)
- 9) 都市域内緑地管理が周辺水域の水質に及ぼす影響 (国内共同研究)
- 10) 土壌の炭素貯留ポテンシャルと母材との関係 (国内共同研究)

3) 研究成果 (2012年度)

原著論文・展望論文(査読付きの論文)

- Bolormaa, O., Kawasaki, K., Watanabe, M. and Ochirbat, B. 2012. Evaluation of heavy metal contamination around the small-scale mining area, Boroo, Mongolia, *ISRN Analytical Chemistry* **2012**: Article ID 153081, 9 pages, (2012) doi:10.5402/2012/153081.
- Souri, B. and Watanabe, M. 2013. Mercury concentration in some calcareous soils of western Iran with a focus on the contribution of soil weathering process. *Environmental Earth Science* doi.10.1007/s12665-012-2211-0.
- Kawahigashi, M. Do, N.M., Nguyen, B.V., and Sumida, H. 2012. Effective land and water management for controlling solutes from acid sulfate soils in Mekong Delta paddy fields. *Pedologist* **55**: 458-465.
- Sumida, H., Uchiyama, H., Ueda, S, Do, M.N., Nguyen, B.V., and Kawahigashi, M. 2012. Sulfur composition of acid sulfate soils distributed in the Mekong Delta, Vietnam. *Pedologist* **55**: 449-457.
- Nagano, H., Sugihara, S, Matsushima, M., Okitsu, S., Prikhodko, V., Manakhova, E., Zdanovich, G.B, Manakhov, D.V., Ivanov, I.V., Funakawa, S., Kawahigashi, M. and Inubushi, K. 2012. Microbial biomass and greenhouse gaseous dynamics of Eurasian steppe soils with different land-use histories located in Arkaim of south Urals, Russia. *Soil Science and Plant Nutrition* **58**: 238-244.
- Itoh, N. Sakagami, N., Torimura, M. and Watanabe, M. 2012. Perylene in Lake Biwa sediment originating from *Cenococcum geophilum* in its catchment area. *Geochimica et Cosmochimica Acta* **85**: 241-251. doi.10.1016/j.gca.2012.07.037.
- 坂上伸生・佐藤あゆみ・小高陽子・渡邊眞紀子 2012. 森林土壌から検出される菌核を用いた自然観察プログラムの試み. *環境教育* **22**: 67-72.
- 坂上伸生・郭 永・箕浦靖久・太田寛行・佐藤嘉則・渡邊眞紀子・石川忠晴 2013. 利根川感潮域の細粒底質動態と微生物群集特性. *環境科学会誌* **26**:128-139.

その他の論文(査読なしの論文, 紀要・単行本の分担執筆を含む)

- 田代 崇・渡邊眞紀子・M.B.Collado 2012. フィリピンルソン島平原パイタン湖における湖底堆積物の流動変動と植生変遷史に関する一考察. *地理誌叢* **53**:1-8.
- Uoi, N., Kawahigashi, M., Ohno, M., Murata, T. and Watanabe, M. 2013. Estimation of soil carbon storage in Shinjuku Gyoen National Garden based on land use history and soil compactness profiles. *Geographical Report of Tokyo Metropolitan University* **48**: 13-24.
- 角野貴信・川東正幸 2012. 世界自然遺産としての小笠原諸島—その魅力を科学し、守り楽しむ知恵を探る—. *Pedologist* **56**: 81-82
- Kurosawa, H., Sakagami, N. and Watanabe, M. 2013. A Study on metallic element composition of petals from Yoshino Cherry Tree and its regional characteristics in Tokyo. *Geographical Report of Tokyo Metropolitan University* **48**: 25-35.

編著書(単著・共著・編集など、分担執筆は含まない)

なし

報告書

なし

書評

なし

その他の報文(技術レポート, 商業誌, 解説・雑録など)

なし

講演・学会発表

杉村俊郎・渡邊眞紀子・亀井宏行 2012. ALOS/PRISM データを用いたエジプト西方沙漠ハルガ・オアシス周辺 DEM 作成と精度検証. 日本リモートセンシング学会春季学術講演会論文集:197-198, 5月, 東京.

渡邊眞紀子 2012. 共生菌をさがせ!. 山協学園科学技術振興機構サイエンスパートナーシッププログラム, 8月, 東京.

田代 崇・渡邊眞紀子・Mario B. Collado・森島 濟 2012. フィリピンルソン島中央平原パイタン湖における湖底堆積物の粒度変動と植生変遷に関する一考察. 日本第四紀学会 2012 年度大会, 8月, 熊谷.

渡邊眞紀子 2012. 地理教育における土壌の扱い方土壌ーEarth's living skinー. 日本学術会議地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同 地理教育分科会話題提供, 9月, 東京.

杉村俊郎・渡邊眞紀子・亀井宏行 2012. 連続する ALOS/PRISM ステレオデータの衛星情報による接合ーエジプト西方沙漠ハルガオアシス周辺を事例としてー. 日本リモートセンシング学会秋季学術講演会論文集:245-246, 11月, 広島.

Bolormaa, O., Kawasaki, K. and Watanabe, M. 2012. Trace element analysis of environmental samples by PIXE. The International Symposium of Advanced Materials and Analytical Techniques ISAMAT 2012, November, Seoul, Korea.

渡邊眞紀子 2013. テクノソルのインベントリーと評価 -世界の動向と日本-. 日本学術会議地球人間圏分科会話題提供, 2月, 東京.

Bolormaa, O., Dorj, D., Erdenetuya, O. and Watanabe, M. 2012. Heavy metal distribution and chemical speciation in soils around small scale mining areas of Mongolia. 第18回ヒ素シンポジウム講演要旨集 18: 22, 11月, 宮崎.

渡邊眞紀子・大里陽一・村上尚平・村田智吉 2013. 都市土壌調査に向けた CCD カメラによる土壌掘削孔の観察と色分析. 2013 年日本地理学会春季学術大会 83: 333, 3月, 熊谷.

川東正幸・泉 岳樹・渡邊眞紀子 2012. 都市域土壌の炭素賦存量の推定と問題点の抽出. 日本土壌肥料学会シンポジウム, 日本土壌肥料学会講演要旨集: 215, 9月, 島根.

- 川東正幸 2012. リター層の燃焼が土壤生態系の生元素の動態に及ぼす影響—シベリアタイガ林の永久凍土域の場合—, 日本ペドロロジー学会 2012 年大会予稿集: 72, 3 月, 八王子.
- 川東正幸・渡邊眞紀子 2012. いろいろ花の色大実験. 平成 24 年度東京都科学技術週間特別行事体験型展示企画提供, 4 月, 東京.
- 隅田裕明・滝沢もえみ・川東正幸 2012. カチオン交換 HPLC 法による酸性土壌における Al イオン種の定量. 日本土壤肥料学会鳥取大会講演要旨集 **58**: 29, 9 月, 鳥取
- Kawahigashi, M., Kida K., Uoi, N. and Watanabe M. 2012. Carbon storage and material cycling in urban soils. *Proceedings of the International Symposium on Sustainable Urban Environment 2012, TMU Symposium Series No.5 2012*: 49-50.
- 川東正幸 2012. 生命を養う母なる大地はこんな顔. 都立南多摩中等教育学校生と 3 年生に対する高大連携講義, 首都大学東京, 10 月, 八王子.
- 中田圭美・田中祐太郎・坂上晋太郎・長田真緒・川東正幸・高味充日児・土屋好司・矢島博文 2012. 竹材堆肥物抽出フルボ酸の物理化学的特性. 日本腐植物質学会東京大会講演要旨集: 55-56, 八王子.
- 坂上晋太郎・中田圭美・坂東加奈子・土屋好司・矢島博文・川東正幸 2012. フミン酸/キトサン複合フィルムを用いた骨再生材料の創製. 竹材堆肥物抽出フルボ酸の物理化学的特性. 日本腐植物質学会東京大会講演要旨集: 45-46, 八王子.
- Kato, S. and Watanabe, M. 2012. Growth of *Fagus* in transition zones of forest and soil on the western slope of Mt. Chokai, northern Japan. *Geophysical Research Abstracts* **14**, EGU2012-3898, EGU General Assembly 2012, April, Vienna, Austria.
- 山本 薫・駒井 優子・加藤 早百合・川東 正幸・渡邊 眞紀子・村上 哲明 2013. 伊豆大島における無配生殖種ベニシダと有性生殖種ハチジョウベニシダの分布を決める環境要因. 日本植物分類学会第 12 回大会, 3 月, 千葉.
- 吉田真弥・加藤早百合・坂上伸生・渡邊眞紀子 2013. 植物珪酸体含量からみたブナの生育と土壌性状との関係. 2013 年日本地理学会春季学術大会要旨集 **83**: 330, 3 月, 熊谷.
- Sakagami, N. and Watanabe, M. 2012. Ectomycorrhizal sclerotia formation and status of organo-mineral complex aluminum in low pH *Fagus* forest, Goldschmit conference 2012, June, Montreal, Canada.
- 伊藤信靖・坂上伸生・鳥村政基・渡邊眞紀子 2012. 琵琶湖底質に含まれるペリレンの起源. 第 21 回環境化学学会討論会, 7 月, 松山.
- 坂上伸生・渡邊眞紀子 2012. 秋田県田沢湖高原ブナ林表層土壌における菌核の分布特性と土壌性状との対応. 日本地理学会 2012 年度秋季学術大会発表要旨集 **82**: 129, 10 月, 神戸.
- 伊藤信靖・坂上伸生・鳥村政基・渡邊眞紀子 2012. 琵琶湖堆積物のペリレンに対する腐植物質の寄与. 日本腐植物質学会東京大会講演要旨集: 17-18, 11 月, 八王子.
- 坂上伸生・Windi AZ ・浅木直美・小松崎将・西脇淳子・M Faiz S ・Irfan DP ・佐藤達雄 2013. インドネシア・ボゴール市およびジョグジャカルタ市近郊の水田土壌における有機農業と有機物特性 (予報). 日本熱帯農業学会第 113 回講演会, 熱帯農業研究 **6** (別号 1) : 23-24, 3

月，茨城.

江口ゆみ・篠原麻希・Ani Widiastuti・古谷綾子・坂上伸生・佐藤達雄 2013. Loop-mediated isothermal amplification (LAMP) 法による植物ウイルス病の簡易検定法の検討とインドネシアにおける現地利用. 日本熱帯農業学会第 113 回講演会, 熱帯農業研究 **6** (別号 1) : 1-2, 3 月, 茨城.

茗荷 傑 2012. 禿寫地の炭素吸収ポテンシャルと土地機能に関する研究. 2013 年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **83**: 334, 3 月, 熊谷.

Amasya, A. F. and Watanabe, M. 2012. A Study on the Relationships between Soil Mesofauna and Sclerotia in Low pH Forest Soils of Japan. Eurosoil, July, Bari, Italy.

Uoi, N. Murata, T. and Watanabe, M. 2012. Correspondence between vertical profile of soil compactness and intensity of land grading process in urban green parks, Tokyo Metropolis. Eusoroil, July, Bari, Italy.

木村祐介 2013. シカ糞と糞虫糞からの植物ケイ酸体の検出と観察. 2013 年日本地理学会春季学術大会要旨集 **83**: 332, 3 月, 熊谷.

万含帥・坂上伸生・渡邊眞紀子 2013. 低 pH 森林土壌における一次鉱物の生物風化と土壌性状. 2013 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **83**: 329, 3 月, 熊谷.

4 地理情報学研究室

1) スタッフ

松山 洋 (まつやま ひろし) 准教授 / 博士(理学)
水文気象学, 地理情報科学

泉 岳樹 (いずみ たけき) 助教 / 博士(工学)
都市気候学, 地理情報科学, 数値気象モデリング

中山 大地 (なかやま だいち) 助教 / 博士(理学)
地理情報科学, リモートセンシング, 数値地形学

2) 研究概要

本研究室では、地形・気候・水文・植生などから構成される自然環境についての総合的理解を目指している。具体的には、質量保存・エネルギー保存・運動方程式などの物理法則に基づいて、原因から結果を説明しようとするアプローチと、フィールドでの調査・観測に基づいて事実を実証的に示そうとするアプローチを組み合わせる研究を進めている。このため、定量的データの収集・マッピング・統計解析・数値モデル・GIS（地理情報システム）などが主要な研究手法となっている。

教員の研究と大学院生・卒論生の指導、および地理環境科学調査法 (V) を通じて取り組んでいきたいテーマには次のようなものがある。

- ・大気圏・水圏のエネルギーと水の循環に関する研究
- ・積雪分布および積雪水資源量の把握と融雪一流出に関する研究
- ・針葉樹の分光反射特性と葉面積指数の定量的評価に関する研究
- ・阿蘇周辺および東京周辺の水環境に関する研究
- ・都市気候と局地風の数値シミュレーションに関する研究
- ・GIS を活用した都市の地表面状態の把握に関する研究
- ・自然環境と自然災害のモニタリング・モデリングに関する研究

3) 研究成果 (2012 年度)

原著論文・展望論文 (査読付きの論文)

松山 洋・片境泰聡 2012. 時間方向に独立でない気象データの自由度を求める簡便かつ定量的な方法について. 天気 59: 1065-1067.

青山雅史 2012. 飛騨山脈槍穂高連峰南岳周辺の周氷河性平滑斜面における気温・表層地温と礫質ローブ形成プロセスの検討. 地学雑誌 **121**: 342-358.

Saito, H. and Matsuyama, H. 2012. Catastrophic landslide disasters triggered by record-breaking rainfall in Japan: Their accurate detection with Normalized Soil Water Index in the Kii Peninsula for the year 2011. *SOLA* **8**: 81-84. doi:10.2151/sola.2012-021.

後藤和久・小松吾郎・齋藤 仁 2012. GIS を用いた火星画像・地形データの解析法. 地質学雑誌 **118**: 683-688.

その他の論文（査読なしの論文、紀要・単行本の分担執筆を含む）

松山 洋 2012. 瑞慶村知佳・本岡 毅・奈佐原颯郎：人工衛星を用いた水田地帯における耕作放棄地の判別, 日本リモートセンシング学会誌 31(1) 55-62, 2011 に関する討議. 日本リモートセンシング学会誌 **32**: 97-100.

松山 洋 2012. わたしと岩手とたろし滝. 板垣 寛編『巨大氷柱 たろし滝 氷柱測定に集う人々の願いとその記録』（有）ツーワンライフ, 114-121.

宇根 寛・青山雅史 2013. 内陸部の液状化と液状化ハザードマップの予測可能性. *E-journal GEO* **7**: 250-252.

編著書（単著・共著・編集など、分担執筆は含まない）

山本正三・石井英也・手塚 章・菊地俊夫・秋本弘章・井田仁康・新堀 毅・林 敦子・松山 洋 2013. 『新編地理 A—ひろがる世界とつながる地域—』二宮書店.

山本正三・石井英也・手塚 章・青木 久・内山幸久・小田宏信・菊地俊夫・菊池美千世・呉羽正昭・中西僚太郎・松山 洋・宮原弘匡・矢島舜肇・山川修治 2013. 『新編 詳解地理 B』二宮書店.

秋本弘章ほか 16 名（松山 洋を含む）2013. 『新編地理 A 教授資料』二宮書店.

石井英也ほか 25 名（松山 洋を含む）2013. 『新編 詳解地理 B 教授資料』二宮書店.

報告書

地理環境科学域 地理情報学研究室 2012. 地理情報学研究室で行なわれている最近の研究—東京都に存在する様々なリソースに関連して—. 持続可能な都市環境学のための国際シンポジウム 2012 会議抄録, *TMU Symposium Series No.5 2012*: 141-142.

松山 洋 2012. 八ヶ岳カラマツ林における BRDF の変動要因の解明～衛星の斜め観測データを利用した植生 3 次元構造の推定にむけて～. 平成 23 年度千葉大学環境リモートセンシング研究センター年報 **17**: 62-63.

松山 洋・泉 岳樹・長谷川宏一 2012. 複数の手法によるスギの葉面積指数の推定—熊本県阿蘇地方を事例に—. 第 14 回 CEReS 環境リモートセンシングシンポジウム資料集: 12-15.

長谷川宏一・泉 岳樹・松山 洋 2012. 新植生指標 NHVI を用いた葉面積指数の空間分布の推定.

第 13 回 CEReS 環境リモートセンシングシンポジウム資料集: 14-16.

土志田正二・内山庄一郎・石澤友浩・齋藤 仁 2012. 平成 24 年 7 月九州北部豪雨における土砂災害調査(速報). 防災科学技術研究所: <http://lsweb1.ess.bosai.go.jp/disaster/201207rain/201207rain.html>.

書評

松山 洋 2012. 書架(野上道男: 魏志倭人伝・卑弥呼・日本書紀をつなぐ糸). 地理 57(12): 110.

松山 洋 2013. 書架(板垣 寛: 巨大氷柱 たろし滝ー氷柱測定に集う人々の願いとその記録). 地理 58(1): 119.

中山大地 2012. 書架(笈川博一: 物語 エルサレムの歴史ー旧約聖書以前からパレスチナ和平まで). 地理 57(5): 116.

中山大地 2012. 書架(蟹澤聡史: 石と人間の歴史ー地の恵みと文化). 地理 57(6): 117.

中山大地 2012. 書架(須田郡司: 日本の聖なる石を訪ねてー知られざるパワー・ストーン 300カ所). 地理 57(7): 113.

中山大地 2012. 書架(新潮社編: 塩野七生『ローマ人の物語』スペシャル・ガイドブック). 地理 57(8): 119.

中山大地 2012. 書架(宮本常一著作, 香月洋一郎編: 私の日本地図 10 武蔵野・青梅). 地理 57(9): 115.

中山大地 2012. 書架(高橋正男著: 物語 イスラエルの歴史ーアブラハムから中東戦争まで). 地理 57(10): 120.

中山大地 2012. 書架(川村博忠著: 江戸幕府の日本地図ー国絵図・城絵図・日本図). 地理 57(11): 118.

中山大地 2012. 書架(村田路人著: 日本史リブレット 93 近世の淀川治水). 地理 57(12): 107.

中山大地 2013. 書架(澁澤龍彦著: 澁澤龍彦全集 12(ヨーロッパの乳房、ほか 4 編収録)). 地理 58(1): 116.

中山大地 2013. 書架(田中正大著: 東京の公園と原地形). 地理 58(2): 118.

中山大地 2013. 書架(宮橋裕司著: 民話が語る自然科学). 地理 58(3): 111.

その他の報文(技術レポート、商業誌、解説・雑録など)

首都大学東京 地理情報学研究室 2012. カルデラ地形雨量 1 割増加ー7 月の九州北部豪雨解析. 2012 年 8 月 16 日付朝日新聞朝刊.

松山 洋 2012. 水が私たちに教えてくれること. 首都大学東京 ミニ講義: 29.

松山 洋 2012. 神田川・環状七号線地下調節池のはなし. 地理月報 No.527.

松山 洋(コメント) 2012. 「暑い理由」CO₂ 派は 7 割ー. アエラ 25(39): 28-32.

松山 洋 2012. 物を探せない者にとっての首都大学東京図書館. りべる 123: 7.

松山 洋 2012. 「新幹線 Year 2012」に上越新幹線と北陸新幹線を想う. 山路(TWV OB 会通信

／名簿) 2013 年: 27-29.

松山 洋 2012. 地図学の聖地 (日本標準時子午線編). 地図ジャーナル No.172: 31-33.

齋藤 仁 2012. 学会賞研究奨励部門を受賞して. 地理情報システム学会ニューズレター No. 84: 15.

西峯洋平 2012. こちら院生室 (8) 首都大学東京 都市環境科学研究科 地理環境科学域 地理情報学研究室. 地図中心 No.479: 40-41.

水戸俊成 2012. 風力発電所の立地と発電量の関係. *GIS NEXT* 41: 82.

講演・学会発表

Matsuyama, H. 2012. A study on the evaluation of natural resources and biodiversity around cities and surrounding areas. Kick-off Meeting on Collaborative Research between Tokyo Metropolitan University (TMU) and Universiti Teknologi Malaysia (UTM), April, Johor Bahru, Malaysia.

松山 洋 2012. 東京の湧水・地下水の変遷と土地利用の経年変化との関係, および将来予測に関する研究. 環境科学会 2012 年会プログラム: 124, 9 月, 横浜.

松山 洋 2012. 「まつぼり風」のはなし. 熊本県大津町立大津東小学校特別授業, 12 月, 熊本県菊池郡大津町.

松山 洋 2013. たろし滝測定の意義. 大瀬川たろし滝測定保存会岩手日日文化賞受賞記念講演会, 3 月, 花巻 (招待講演).

松山 洋・稲村友彦・泉 岳樹 2013. 「まつぼり風」吹走地域で暮らす方たちはこの局地風をどう捉えているのか? 一数量化 III 類を用いた分析一. 2013 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **83**: 82, 3 月, 熊谷.

瓜田真司・松山 洋 2012. 日本における近年の大雨の出現頻度とその分布に関する研究. 日本気象学会 2012 年度春季大会講演予稿集 **101**: 229, 5 月, つくば.

泉 岳樹・稲村友彦 2012. 都市における集中豪雨に都市形態が与える影響—東京を対象としたアンサンブル実験. 日本気象学会 2012 年度春季大会講演予稿集 **101**: 280, 5 月, つくば.

泉 岳樹・稲村友彦 2012. 露場の周辺環境が気象観測に与える影響に関する一考察—東京 (大手町) 露場の移転を念頭に—. 日本気象学会 2012 年度春季大会講演予稿集 **101**: 457, 5 月, つくば.

Izumi, T. and Inamura, T. 2012. Numerical simulation study of estimating urbanization effects on the climate in Wuhan, China. 6th Japanese-German Meeting on Urban Climatology, September, Hiroshima.

泉 岳樹・稲村友彦・宇佐美昌樹 2012. 気象災害におけるヘリコプター型 UAV の利活用に関する実証的研究—つくば市北条地区での竜巻被害を対象として—. 日本気象学会 2012 年度秋季大会講演予稿集 **102**: 48, 10 月, 札幌.

泉 岳樹・稲村友彦・大和広明・藤井宏之 2012. 気象災害における 3 次元データ取得装置 (IP-S2 Lite) の利活用に関する実証的研究—つくば市北条地区での竜巻被害を対象として—. 日本気

- 象学会 2012 年度秋季大会講演予稿集 **102**: 489, 10 月, 札幌.
- 紺野祥平・泉 岳樹・高橋日出男 2012. 関東平野西部山地斜面における斜面温暖帯の特徴—表面温度と地形・植生の関係について. 日本気象学会 2012 年度春季大会講演予稿集 **101**: 129, 5 月, つくば.
- 青山雅史 2013. 東北地方太平洋沖地震による宮城県北部における液状化発生地点の地形条件と土地履歴. 2013 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **83**: 188, 3 月, 熊谷.
- 青山雅史・小山拓志 2012. 東北地方太平洋沖地震による利根川下流低地と宮城北部大崎平野における液状化被害分布と地形条件, 土地履歴との関係. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: HSC24-P03 (CD-ROM), 5 月, 幕張.
- 青山雅史・小山拓志 2012. 東北地方太平洋沖地震による内陸部の液状化被害. 2012 年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **82**: 57, 10 月, 神戸.
- 宇根 寛・青山雅史・長谷川智則 2012. 東北地方太平洋沖地震に伴う内陸部の液状化分布とハザードマップ—我孫子市を例に. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: HSC24-04 (CD-ROM), 5 月, 幕張.
- 小山拓志・澤口晋一・青山雅史・菅澤雄大・天井澤暁裕・高橋伸幸・増沢武弘 2012. 南アルプス南部, 悪沢岳周辺の周氷河環境. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: AHW28-P05 (CD-ROM), 5 月, 幕張.
- Saito, H. 2012. Relation between deforestation and rainfall intensity-duration thresholds for landslide occurrences: A case study of Mt. Ichifusa, Japan, *AGU Fall Meeting 2012*: NH13A-1571, December, California, USA.
- 齋藤 仁・松山 洋 2012. 2011 年台風 12 号による紀伊半島での斜面崩壊の検証—降雨量と Normalized Soil Water Index に注目して—. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集: HDS25-02 (CD-ROM), 5 月, 幕張.
- 齋藤 仁・松山 洋 2012. Normalized Soil Water Index を用いた台風 1112 号による土砂災害の検証—紀伊半島 (奈良県南部) を対象として—. 日本気象学会 2012 年度春季大会講演予稿集 **101**: 296, 5 月, つくば.
- 齋藤 仁・村上 亘・大丸裕武 2012. 長期雨量データを用いた森林伐採と崩壊発生基準雨量との関係の解析—市房山を対象として—. 第 4 回 GIS-Landslide and Natural Hazard 研究集会 講演要旨集: 9, 7 月, 仙台.
- Saito, H., Murakami, W., Daimaru, H. and Oguchi, T. 2012. Relation between deforestation and rainfall intensity—duration thresholds for landslide occurrences: A case study of Mt. Ichifusa, Japan, *AGU Fall Meeting 2012*: NH13A-1571, December, California, USA.
- 土志田正二・内山庄一郎・石澤友浩・齋藤 仁 2012. 平成 24 年 7 月九州北部豪雨における斜面崩壊の概要. 平成 24 年度 日本応用地質学会 研究発表会 SP1: 217-218, 11 月, 新潟.
- 福岡 浩・松四雄騎・古谷 元・齋藤 仁 2013. 平成 24 年 7 月九州北部豪雨による阿蘇カルデラの流動性地すべり. 京都大学防災研究所研究発表講演会: A24, 2 月, 宇治.

- Hayakawa, S. Y., Kobayashi, A., Oguchi, T., Saito, H., Baker, R. V., Pelletier, J., McGuire, L., Komatsu G. and Goto, K. 2012. Terrestrial laser scanning of a tsunami-affected valley in Aneyoshi, northeastern Japan. *Abstract of Japan Geoscience Union Meeting 2012*: HTT07-02 (CD-ROM), May, Makuhari.
- 早川裕弐・小林明才・小口 高・齋藤 仁 2012. 三陸海岸・姉吉地区の谷における斜面下部の津波侵食: 地上レーザスキャンによる分析. 日本地形学連合 2012 年秋季大会講演要旨集: 2 (地形 34: 81), 9 月, 大阪.
- Oguchi, T., Hayakawa, S. Y., Saito, H., Kobayashi, A., Baker, R. V., Pelletier, J., McGuire, L., Komatsu G. and Goto, K. 2012. Laser scanning surveys to analyze morphological impacts of the 2011 Tohoku-Oki Tsunami, northeastern Japan. *Abstract of Japan Geoscience Union Meeting 2012*: HTT07-01 (CD-ROM), May, Makuhari.
- Oguchi, T., Hayakawa, S. Y., Saito, H. and Kobayashi, A. 2012. Terrestrial laser scanning for detailed topographic analysis of slopes affected by large tsunamis. 32nd International Geographical Congress, August, Köln, Germany.
- 稲村友彦・赤堀 充・泉 岳樹・松山 洋 2012. 局地風「まつぼり風」の吹走メカニズムー上空の風向と阿蘇外輪山の地形に着目してー. 日本気象学会 2012 年度春季大会講演予稿集 101: 364, 5 月, つくば.
- 稲村友彦・泉 岳樹・松山 洋 2012. 局地風「まつぼり風」の発生数と低気圧経路の関係. 日本気象学会 2012 年度秋季大会講演予稿集 102: 429, 10 月, 札幌.
- 渡邊貴典・泉 岳樹・松山 洋 2012. 改良型 WRF/Chem を用いた緑地の大気浄化作用に関する研究. 日本気象学会 2012 年度春季大会講演予稿集 101: 328, 5 月, つくば.
- Watanabe, T., Izumi, T. and Matsuyama, H. 2012. Numerical study on air purification effects of plants as revealed by modified WRF/Chem. 6th Japanese-German Meeting on Urban Climatology, September, Hiroshima.
- 西峯洋平 2012. 自然地名の分布に関する地理情報学的研究. 第 8 回 GIS コミュニティフォーラム マップギャラリー, 5~6 月, 東京.
- 水戸俊成・稲村友彦・泉 岳樹・松山 洋 2012. 風力発電所の立地と発電量に関する研究ー太鼓山風力発電所と苫前夕陽丘ウィンドファームの実測データを用いてー. 日本気象学会 2012 年度春季大会講演予稿集 101: 156, 5 月, つくば.
- 山本遼介 2013. オブジェクトベース画像解析による都市域の土地被覆分類ー東京都世田谷区を対象にー. 2012 年度全国地理学専攻学生卒業論文発表大会, 3 月, 小金井.
- 酒井健吾・長谷川宏一・泉 岳樹・松山 洋 2013. 新型 UAV (無人ヘリコプター) を用いた BRDF 観測システムの構築. 第 15 回 CEReS 環境リモートセンシングシンポジウム, 2 月, 千葉.
- 廣井 翼・下山田拓弥・西峯洋平・松山 洋 2012. ファミリーレストラン「Joyfull」とファーストフードチェーン店「マクドナルド」における店舗立地の相違. 第 15 回年次シンポジウム (CSIS DAYS 2012) 「全国共同利用研究発表大会」研究アブストラクト集: 29, 11 月, 柏.

5 都市・人文地理学研究室

1) スタッフ

杉浦 芳夫 (すぎうら よしお) 教授 / 博士 (理学)
人文地理学

若林 芳樹 (わかばやし よしき) 教授 / 博士 (理学)
都市地理学, 行動地理学, 地理情報科学

滝波 章弘 (たきなみ あきひろ) 准教授 / 博士 (文学)
文化地理学, ツーリズム研究, フランス語圏研究

坪本 裕之 (つぼもと ひろゆき) 助教 / 博士 (理学)
都市地理学, オフィス研究

原山 道子 (はらやま みちこ) 助教
計量書誌学

2) 研究概要

この研究室は、人文地理学の分野を研究するグループである。人間との関係における地域ないし空間の問題を、人文・社会科学的側面からアプローチし、多様な人文現象の構造的な説明・解釈を目的としている。現在行われている研究は、様々なレベルに分類できる。対象地域としては、都市とその周辺地域を中心とし、事象としては産業活動、人間行動や意識、その他の種々の人文・社会現象、方法論としては計量的方法、統計的実証的手法、および文献検証的手法が使われ、対象時期は歴史時代より現代までおよぶ。「専門は深く」、「関心は広く」を標語にして、次のような研究が行われている。

1. 数理モデルによる人文地理的現象の解析：

- 1) 経済活動の立地
- 2) 人・物の移動と情報の伝播
- 3) 頭の中にイメージする地図と空間的行動
- 4) 時間地理学的研究

2. 地域研究による人文地理的現象の解析：

- 1) 人間や経済活動や文化活動と環境との関わり合いに関する研究
- 2) 都市近郊における土地利用変化と諸事象の地域形成に関する研究

- 3) 人間がつくる地域組織や社会組織に関する研究
- 4) 環境変化にともなう人間活動の変容に関する研究
- 3. 都市システムの解析：
 - 1) 都市内部の空間構造の研究
 - 2) 都市群のシステム論的研究
- 4. 地理思想の研究：
 - 1) 現代地理学の研究史
 - 2) 地理学研究分野の計量書誌学的研究

3) 研究成果 (2012 年度)

原著論文・展望論文(査読付きの論文)

- 若林芳樹・久木元美琴・由井義通 2012. 沖縄県那覇市の保育サービス供給体制における認可外保育所の役割. 経済地理学年報 **58**(2): 79-99
- 若林芳樹・小泉 諒. 2012. 探索的空間データ解析のための地理的可視化ツールの応用：東京大都市圏の人口データへの適用事例. 地図 **50**(2): 3-10.
- 田中雅大 2013. 日常的移動行動との関連でみた都市空間における認知距離の質的側面—金沢市の大学生の事例—. 人文地理 **65**(1):47-62.

その他の論文(査読なしの論文、紀要・単行本の分担執筆を含む)

- 由井義通・神谷浩夫・若林芳樹 2012. 女性の就業と生活空間の多様性—地理学の視点—. 由井義通編著『女性就業と生活空間』11-24. 明石書店.
- 由井義通・若林芳樹・中澤高志・神谷浩夫 2012. 働く女性の居住地選択と都市空間. 由井義通編著『女性就業と生活空間』73-98. 明石書店.
- 若林芳樹 2012. 東京大都市圏における保育サービス供給の動向と地域的差異. 由井義通編著『女性就業と生活空間』119-136. 明石書店.
- 久木元美琴 2012. 温泉観光地で働く女性と保育. 由井義通編著『女性就業と生活空間』152-153. 明石書店.

編著書(単著・共著・編集など、分担執筆は含まない)

なし

報告書

なし

書評

なし

その他の報文(技術レポート、商業誌、解説・雑録など)

今井 修 2012. 地理空間情報の高度活用人材育成プログラム. 人と国土 21 **38**(2): 46-47.

講演・学会発表

若林芳樹 2012. Reginald Golledge と行動地理学. 人間・環境学会第 19 回大会, 5 月, 横浜.

若林芳樹・小泉 諒 2012. 東京 23 区における都市空間変化のホットスポットとコールドスポットの抽出と地図化. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集 (CD-ROM), 5 月, 千葉.

Wakabayashi, Y., Kukimoto, M. and Yui, Y. 2012. The role of unlicensed childcare facilities in providing childcare services in Naha City, Okinawa . Pre - Conference of the IGU - Commission on Gender and Geography, August, Hamburg, German.

若林芳樹・小泉 諒 2012. バブル経済期以降の東京 23 区における人口変化の空間的パターン. 2012 年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **82**: 171, 10 月, 神戸.

若林芳樹・久木元美琴・由井義通 2012. 沖縄県那覇市における保育サービス需給ギャップの地図化. 地理情報システム学会学術研究発表大会講演論文集 **21** (CD-ROM), 10 月, 広島.

松井優理・若林芳樹 2012. 地形図読図問題の解答過程における空間的思考. 人文地理学会 2012 年大会発表要旨集: 70-71, 11 月, 京都.

坪本裕之 2012. バブル経済期以降の広島市中心部における業務地域の変容. 人文地理学会 2012 年大会発表要旨集: 128-129, 11 月, 京都.

坪本裕之 2013. 都市内部構造の説明におけるエンドユーザーモデル構築の試み. 2013 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **83**: 105, 3 月, 熊谷.

今井 修 2012. 気づきマップによる持続的参加型 GIS 活動. 地理情報システム学会学術研究発表大会講演論文集 **21** (CD-ROM), 10 月, 広島.

今井 修 2013. 地理学の社会的役割を考えるー導入ー. 2013 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **83**: 18, 3 月, 熊谷.

今井 修 2013. 日本における参加型 GIS の展開. 2013 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **83**: 43, 3 月, 熊谷.

Kukimoto, M. 2012. The use of communication tools for child-rearing information among mothers living in central Tokyo. 32nd International Geographical Congress, August, Cologne, Germany.

Kukimoto, M. and Koizumi, R. 2012. Regional Disparities in the Provision of Childcare Services and the Consequent Problems Facing Working Mothers in Metropolitan Areas in Japan. Pre Conference of the IGU-Commission on Gender and Geography, August, Hamburg, German.

Koizumi, R. and Kukimoto, M. 2012. Gentrification and gender relation reconsidered: the case of a redeveloped district of Tokyo. Pre Conference of the IGU-Commission on Gender and Geography, August, Hamburg, German.

- 小泉 諒 2012. 脱成長時代における東京大都市圏の空間構造の変容. 2012年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **82**:17, 10月, 神戸.
- 小泉 諒 2013. バブル経済期以降の東京大都市圏の社会・空間構造とその変化. 2013年日本地理学会春季学術大会 都市社会地理学研究グループ, 3月, 熊谷.
- 田中雅大 2012. 日常的移動行動との関連でみた都市空間における認知距離の質的側面-金沢市の大学生の事例-. 2012年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **82**: 73, 10月, 神戸.
- 田中雅大 2013. ボランティアな地理情報としての視覚障害者向け道案内文の協同作成. 2013年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **83**: 250, 3月, 熊谷.

6 特定学術研究

教育奨励寄付金による研究 0件

受託研究費による研究 1件

齋藤 仁：農林水産技術会議 平成 24 年度地球温暖化が森林及び林業分野に与える影響評価と適応技術の開発委託事業「温暖化が花崗岩山地地域の崩壊リスクに与える影響評価に関する技術の開発」

産学共同研究費による研究 1件

高橋日出男：首都大学東京・東京都環境科学研究所共同研究「東京における温暖化とゲリラ豪雨等局地的極端現象の実態解明に関する研究」

受託事業費による研究 0件

提案公募型研究費による研究 13件

鈴木毅彦：文部科学省重点調査「立川断層帯における重点的な調査観測」

高橋日出男：首都大学東京スタートアップ調査「極端気象頻発の時代における集中豪雨発生予測モデルの構築」

松本 淳：首都大学東京傾斜的研究費（全学分）学長裁量枠「雷活動を用いた都市型豪雨の予測可能性」

松本 淳：宇宙航空研究開発機構 PMM 研究公募共同研究「ベトナムにおける衛星及び地上観測データを利用した降水気候学」

松本 淳：名古屋大学地球水循環研究センター共同研究「アジアモンスーン域における植生気候相互作用の解明」

松山 洋：旭硝子財団 環境研究 近藤次郎グラント「東京の湧水・地下水の変遷と土地利用の経年変化との関係、および将来予測に関する研究」

松山 洋：東京地学協会 平成 24 年度研究・調査助成「阿蘇の局地風「まつぼり風」の吹走メカニズムの解明ー現地観測とメソ気象モデルを用いてー」

松山 洋：千葉大学環境リモートセンシング研究センター共同利用研究「新型 UAV（無人ヘリコプター）を用いた BRDF 観測システムの構築」

高橋 洋：首都大学東京・改革推進費ースタートアップ調査「都市気候リスク管理：不確実性情報付き将来気候予測」

高橋 洋：東京大学大気海洋研究所共同研究「全球雲解像モデルの開発及びデータ解析」

高橋 洋：名古屋大学地球水循環研究センター共同研究「東南アジアにおけるオンセット期の地

表面状態の対流活動に及ぼす影響」

高橋 洋：千葉大学環境リモートセンシング研究センター共同研究「アジアモンスーン域の冬季における雲降水活動の研究」

齋藤 仁：国土地理協会平成 24 年度学術研究助成「長期間の事例解析に基づく豪雨災害・土砂災害モニタリングシステムの運用と防災情報への活用」

科学研究費による研究 14 件

杉浦芳夫：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「渡辺良雄の中心地研究の再評価に関する研究」

鈴木毅彦：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「関東における全第四紀テフラの層序解明」

高橋日出男：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B) 「降水粒子計測と稠密気象資料による都市の降水特性と短時間強雨発生予測に関する研究」

松本 淳：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (A) 「モンスーンアジアの降水強度の長期変化」

山崎晴雄：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「関東平野の起源に関わる上総層群基底黒滝不整合の成因と形成プロセス」

若林芳樹：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B) 「参加型 GIS の理論と応用に関する研究」

若林芳樹：日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究「地理情報技術が人間の空間認知と空間的思考に与える影響に関する研究」

白井正明：日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究「陸域の災害や人類活動が半遠洋的環境の堆積作用に与えたインパクトの解明」

中山大地：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「土砂災害危険区域における高齢者の分布と想定最大被害額の推定に関する研究」

坂上伸生：日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究 (B) 「森林土壌における菌核の空間分布特性の把握および土壌炭素蓄積機能の評価」

齋藤 仁：日本学術振興会科学研究費補助金 特別研究員奨励費「斜面崩壊と土砂生産を規定する素因・誘因および地球温暖化の影響の広域的評価」

浅田晴久：日本学術振興会科学研究費補助金 特別研究員奨励費「地域防災力の向上に向けた民族知の評価に関する研究—インド・アッサム州の事例から—」

久木元美琴：日本学術振興会科学研究費補助金 特別研究員奨励費「福祉国家転換期における子育て支援システム—地域的文脈と育児戦略に着目して」

稲村友彦：日本学術振興会科学研究費補助金 特別研究員奨励費「地形の力学的効果による局地風の吹走メカニズムに関する研究」

7 学位論文

博士論文

2013年3月修了

安藤広一: CIP-based numerical calculation about generations of fault-related flexures in unconsolidated sediments (CIP法を用いた未固結堆積物中における断層関連撓曲の発生シミュレーション)

長谷川宏一: Multi-angular optical remote sensing for monitoring dynamic vegetation structure and leaf area index (多方向からの放射観測データを用いた植生動態モニタリング手法の開発)

稲村友彦: Diagnostic study on mechanisms of a local downsloped wind storm and effects of climate change on its occurrence (局地風の吹走メカニズムの解明, および気候変動が局地風の発生に及ぼす影響に関する研究)

修士論文

2012年9月修了

笠原天生: 郡山層の堆積からみた郡山盆地の地形発達

2013年3月修了

青木 拓: 群馬県秋間丘陵石尊山南斜面に見られる緩斜面の発達

鈴木 望: サヘル地域における契約に基づいた家畜放牧—ニジェール南西部におけるフルベとハウサの事例—

岩船 渉: 地方都市における食料品の購買環境と消費者の行動—青森市を事例として—

河合貴之: 宮城県, 名取川流域の地形発達史

高橋玲子: 多摩ニュータウン住民の“もう一つの終の住処”

小嶋智子: 田沢湖周辺地域における珪長質火砕堆積物の分布と地形発達に関する考察

西澤文勝: 下門火砕流堆積物に類似する火砕堆積物の記載岩石学的特徴の検討

平松佑脩: 建物および人口の分布を考慮した急傾斜地崩壊危険箇所の評価—神奈川県鎌倉市を事例に—

片境泰聡: WRFを用いた局地風シミュレーションの吹走メカニズムに関する研究—砕波の発生の有無に着目して—

相場矢絵: オーストラリアモンスーン域における対流活動の季節変化

王 露莎: 内モンゴルにおける夏季降水量の年々変動とその地域特性

斎藤勇人: 風の収束を用いた東京都区部における夏季短時間強雨の予測可能性に関する研究

戸田文枝: 隣接市街地に及ぼす水田の気温低減効果